平成２８年度

適　性　検　査　Ⅰ

注　　意

1　問題は 1 から 5 までで、２１ページにわたって印刷してあります。

2　検査時間は**４５分**です。

3　声を出して読んではいけません。

4　解答はすべて解答用紙にはっきりと記入し、**解答用紙だけ提出**しなさい。

5　解答を直すときは、きれいに消してから、新しい解答を書きなさい。

6　**性別・受検番号**は解答用紙の決められた欄（らん）２か所に必ず記入しなさい。

さ い た ま 市 立 浦 和 中 学 校

1

花子さんは、今年の夏、家族で登る予定の、秋田県と山形県にまたがる鳥海山を舞台にした小説『鳥海山の空の上から』を本屋で見つけ、興味をもって読んでみました。

次の文章は、三輪裕子著『鳥海山の空の上から』（小峰書店）の一部です。これを読んで問１～問５に答えなさい。

小学５年生の翔太は、夏休みに、母が母方の祖父の介護のため、急きょ実家の福岡にもどってしまったことから、その年の夏休みを父方の祖父の姉である「お波さん」が暮らす秋田県の矢島で過ごすこととなる。以下は、翔太とお波さん、翔太のはとこ（翔太の祖父の弟の孫）でアメリカ在住のユリアの３人が鳥海山に登る場面である。

三輪裕子著「鳥海山の空の上から」小峰書店
１９１頁８行目から２０７頁４行目の文章による。

著作権法上の都合により
掲載できません

（一部省略やふりがなをつけるなどの変更（へんこう）があります。）

※１　鳥ノ海…鳥海山の火口にある湖。

※２　パッフェルベルのカノン…ドイツの作曲家ヨハン・パッフェルベル（１６５３～１７０６）が１６８０年頃（ごろ）に作曲した楽曲。

※３　タケシ…ユリアの祖父。ユリアはグランパと呼んでいる。

問１　空らん［　A　］にあてはまる翔太が思ったことを、次のア～エの中から１つ選び、記号で答えなさい。

ア　お波さんは満足していないんだ。
イ　お波さんは一人になりたいんだ。
ウ　お波さんはぼくとユリアだけでゆっくり遊ばせたいんだ。
エ　お波さんはぼくとユリアをこの先には行かせたくないんだ。

問２　下線部②「何が大変なんだろう。」とありますが、翔太がこの時気づかなかったことについて、花子さんは次のようにまとめました。次の空らん［　B　］にあてはまる内容を、本文中からさがして、６字で書きぬきなさい。

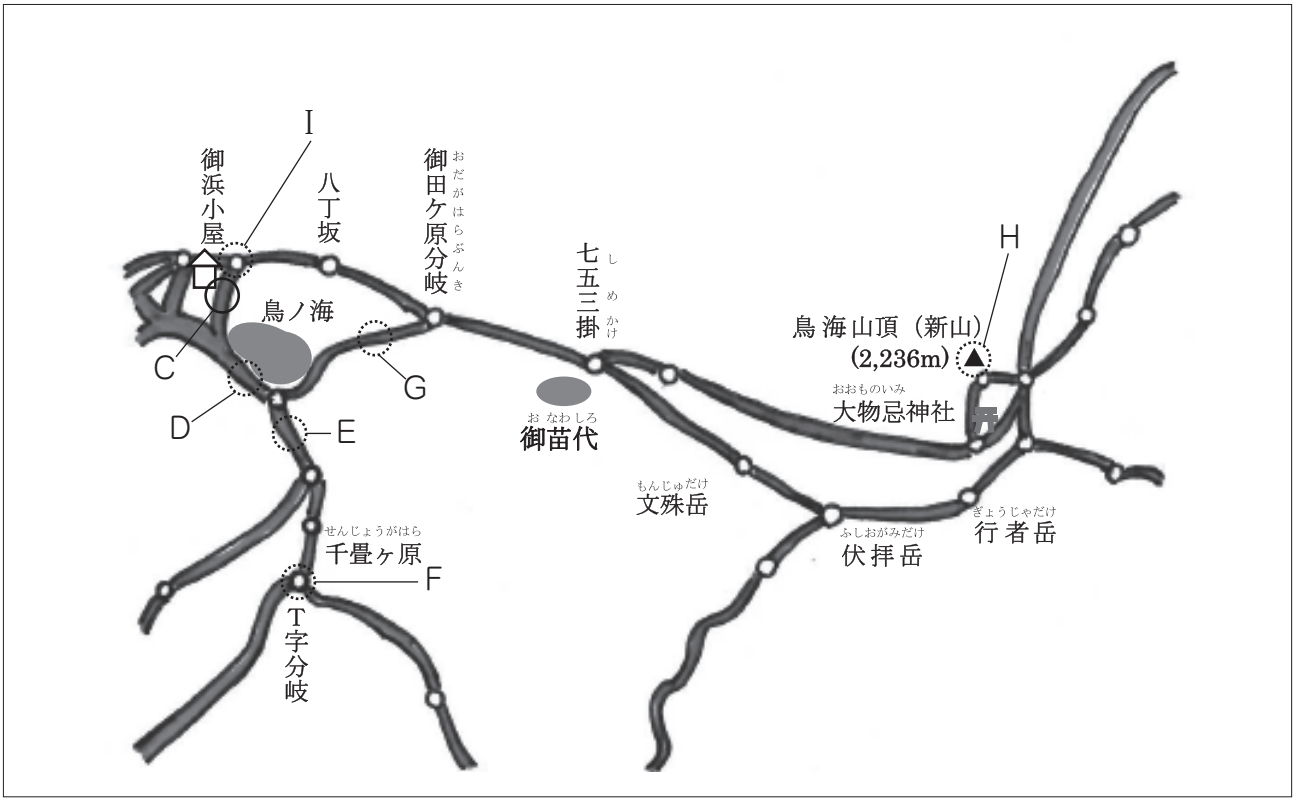
お波さんが［　　B　　］であること。

問３　花子さんはこの文章を読んで、お波さんがニッコウキスゲの花に例えて、翔太とユリアにメッセージを送っていたと考えました。お波さんが二人に伝えたかった内容を、本文中の語句を使って、３５字以上４５字以内で書きなさい。

問４　下線部①「お波さんの目に涙が浮かんでいた。」、下線部③「ユリアは突然、ポロポロっと涙をこぼした。」と、涙に関する記述がありますが、お波さんとユリアがどのような思いで涙を流していたのかを、花子さんは想像してまとめました。そのまとめとして適切な内容を、それぞれ１５字以上２５字以内で書きなさい。

問５　花子さんは次の**地図**を見て、Ｃ地点で３人がお弁当を食べた後、翔太とユリアがどのようにルートを移動したのかを確かめました。その移動したルートとして最も適切なものを、下のア～エの中から１つ選び、記号で答えなさい。

地図



ア　C→D→E→F→E→G→I→C
イ　C→D→G→H→I→C
ウ　C→I→G→D→C
エ　C→D→G→I→C→D

2

太郎くんは、図書館で『なりたて中学生　初級編』という本を見つけました。中学校進学を間近にひかえた太郎くんは主人公に親近感を覚え、この本を読んでみることにしました。

次の文章は、ひこ・田中著『なりたて中学生　初級編』（講談社）の一部です。これを読んで問１～問５に答えなさい。

主人公の「オレ」（テツオ）は中学校１年生である。「オレ」は小学校卒業の直前に引っ越しをしたため、友人たちとは別の中学校に一人だけで入学した。担任は、瓜生直子先生、数学の教師である。この日は、入学２日目。瓜生先生の初めての数学の授業が始まった。

「時間割り、一時限目は数学。そして私は数学の教師です。したがって今私は、担任としてではなく、数学の教師として、みなさんと向かい合っています」

数学って、土矢小学校で教わっていた算数のことやな。

？

算数。

数学。

そうか。①中学生になるというのは、算数が数学になるということと言えるのかもしれんな。

オレはなんとなく納得したような、かえってわからなくなったような気分になった。

算数と数学では何が違うのや？

オレは机の中から『数学Ⅰ』っていう教科書を出した。

前のアンリも、横のツグミも教科書を机の上に置いた。

「みなさんの中には、小学校で算数と呼ばれていた授業が、なぜ中学校では数学になるのか、不思議に思っている人もいると思います」

自動的にオレはうなずいてしまった。

「では、算数と数学は違うものなのか？　はい、篠田アヤノさん」

前のほうの席の女子が手を上げた。

「同じやけど、中学校になったから、ちょっと難しいように見せるために、ネーミングを変えたのやと思います」

「いい発想です。他は？　はい、砂州さん」

「方程式を習う」

「よく知っていますね」

「塾で習った」

アンリが手を上げる。

「なるほど。塾は親切ね。はい、代田アンリさん」

「どっちも数って字が入っているから、似たものだと思います。違うのは、算と学。そこが問題かな」

「お～、鋭い分析。はい、島ツグミさん」

「先生は、答えを知っているのに、私たちに答えさせてばっかりいるのは、ずるいと思います」

瓜生が「ハ、ハ、ハ、ハ、ハ」と笑った。

「参ったな。わかりました。では、私なりの考え。さっき代田さんがどっちにも数の字が入っていて、違うのは算と学だと分析してくれはったよね、そこから説明します。算の字を辞書で引いてみてください」

「国語やなくて数学の授業やろ、先生」と後藤。
「今は言葉を調べるから、はい、辞書を出して使う」
　オレは机の中から国語辞書を出した。みんなもそうしている音がする。見回すと、かったるそうにしている男子や女子もいるし、無表情の人もいる。オレはどんな表情をしているのやろう？　うざい、かったるい、マジ、ニコニコ、無表情？
　わざと意識をしないと自分では自分がどんな表情をしているかなんて、よくわからないな。
「では、後藤さん、算の意味は？」
　後藤はかなり必死で辞書をめくった。
「 D 」
「そうね。算数は、数をかぞえる。足し算、引き算、掛け算、割り算。算数の基本はかぞえること。みなさんがもっともっと大きくなって、大人になって、仕事でも買い物をする時でも、ずっと使う知識。生活に必要な知識やね。それを小学校では習ったの。もちろんもっと複雑な内容も習ったけれど、それらもやっぱり日常の中で使うことが多い知識が中心ね。
　これは一生必要だから、最初に習いました。
　小学校で一応習ったはずやけど、うまく覚えられてないなあって人がいたら、遠慮なく私に教わりに来てください。恥ずかしがってはいけないよ。というか、別に恥ずかしがることでもないからね。びしっとお教えします」
「怖いなあ」と後藤が言った。後藤が「怖い」って言うのが、オレにはちょっと意外やった。
「大事なところだから、怖いかもね」と瓜生が応えた。
　その「かもね」が、ものすごい怖いとオレは感じた。
　瓜生が続ける。
「それでね、数学は、数を学ぶの。日常使う算数とはちょっと違う。おつりがいくらだとか、エレベーターから何人降りたら何人残るかを導き出すだけじゃなく、なぜそうなのかってことを考える。理屈を学びます。それと、現実にはない数も扱います。たとえばマイナスね。マイナスは知っている？　はい、島さん」
「マイナス五度とか」
「そうそう。そのマイナス。ゼロより少ない数字。今、島さんが言ってくれたマイナス五度は現実にある気温だけど、ある温度をゼロに定めているから、それより低い場合はマイナスと表記するのね。もし、今マイナス五度にしている気温をゼロ度と定めたら、今のゼロ度はプラス五度になる」
「ゼロ度は水が凍り出す温度や」とツグミが言った。
「氷が溶け出す温度と違うか？」と砂州が言った。
「どっちも同じやろ」と後藤。
「同じかな、違う気もするけど」と米田。
　凍ろうとする水と、溶けようとする氷が、オレの頭の中でごちゃごちゃになった。
「どっちでもええやん。だいたいそんなところなんやろ」と篠田。
　オレは、この時気づいた。なんか知らん間に、授業になっているやないか。瓜生、この先生は、やっぱり油断がならん。このスキル[※1]は原田[※2]に教えてやろう。原田、今のオレ、原田と会いたいぞ。
「はい。いろいろ意見をありがとう。ゼロ度は篠田さんが言った『だいたいそんなところなんやろ』が一番近いです」
「なんじゃそれは。算数よりええかげんなもんか、数学は」と砂州。
「砂州さん。ゼロ度の正確な定義はあります。ありますが、みなさんにはまだ難しすぎる。それは理科や数学を学びに大学に行けば教わりますし、理解できるでしょう。今のところは凍り出す温度や溶け出

す温度、だいたいその辺りと考えておいて現実的に問題はありません」
「ややこしい」とアンリ。
「ややこしいね」と瓜生が笑う。「数学は、数を学ぶわけだから、現実にはあり得ないようなところまで仮定して考えるの。だから今みたいな現実の温度に当てはめるとかえってややこしく見える時もある。
　現実って、②『だいたい』でできているやん。リンゴ一個一個は形も重さも違うけど、それでも一個いくらで値段を付けている。料理を作る時も、※3レシピには何グラムとか書いてあるけれど、塩やしょうゆの量をそんなに正確に量っているわけじゃない。同じ通学路を通っていても、歩数も掛かる時間もその日によっていろいろ。
　毎日の生活はだいたいで、かまわないの。ゼロ度も正確な定義はあるけれど、普段はだいたい、その辺りと考えて困ることはない。
　一方、数学は想像力を広げていくの。数学は、抽象的、空想的、非日常的な世界を扱うといってもいいかな。マイナスの場合だと、マイナス五度はあるけれど、マイナス五人はないよね。でも、数学ではそれを、あると仮定して考えるの」
「そんなん、なんの役にも立たないやん」とツグミ。
「そうね。島さんのこれからの人生でマイナス五人と出会うことはないやろうね。そう、③数学は算数のようにどう役に立つかは見えにくい。だから退屈に思えるかもしれないし、無駄だと思うかもしれない。でも、これだけは保証します。数学はみなさんが生きていくこれからの人生で、いろんな見方を広げてくれると思う。それは数学だけじゃなく、他の科目も同じやよ。小学校で、生きるために必要な知識を学んだみなさんは、これから、それがなぜそうなっているか、なぜ必要なのかを学んでいきます。そして自分の幅を広げるための知識も得ていきます」
「やっぱり、ややこしい」と篠田。
「やっぱり、ややこしいよね。言っている私がそう思うもの」
「なんじゃ、それは」と後藤。
「ごめんね。一言じゃ、説明できないの。だから私は、これから三年を掛けて、みなさんにそれを伝えたいと思っています」
　それから瓜生は、算数で習った＋の数を「正の数」と呼び、－の数を「負の数」と呼ぶというところから、授業を始めた。
　④オレはみんなと瓜生のやりとりを眺めながら、それに参加できないオレ、いや参加しないオレに、落ち込んでいた。
　みんな、自然に小学校から中学校に進学してきた。そのことを気にもしてないはずや。もちろん、別の小学校から来た連中がいるから緊張感はあるやろうけど、オレみたいに一人だけで別の小学校から来たのやない。
　せやからオレは、教室のやりとりの間も静かにしていたわけや。
　けど、それって結局、オレが勝手にびびっているだけやないか？　と、ふと思ったのや。
　なんでそう思ったかは、オレにもわからない。
　そして、そう思ったけど、やっぱり目立たないようにしているオレ。
　オレって、なんや？
　それから一時限ごとに先生が変わった。理科の深松ハヤト、保健体育の赤井リュウセイ、国語の亀岡アヤノ。それぞれが科目説明から始める。一人一人が話しているのを眺めながらオレは、これが中学なのを実感した。　　（一部省略やふりがなをつけるなどの変更があります。）
※１　スキル…訓練などで身に付けた技能。腕前。
※２　原田…土矢小学校６年の時のテツオの担任の先生。
※３　レシピ…料理の調理法を記したもの。

問１　下線部①「中学生になるというのは、算数が数学になるということと言える」とありますが、太郎くんは「瓜生先生」の言葉に注目し、小学校と中学校との「学び」の違いについて考え、表にしました。次の空らん［A］～［C］にあてはまる言葉を、Ａは本文中からさがして１４字で書きぬき、Ｂは８字以内で、Ｃは１５字以内で書きなさい。

	どんなことを学ぶか	なぜ学ぶのか
小学校	［A］を学ぶ。	［B］だから。
中学校	なぜそうなのかという理屈（りくつ）を学ぶ。	［C］だから。

問２　空らん［D］には、「算」の意味にあたる言葉が入ります。本文中からさがして、４字で書きぬきなさい。

問３　下線部②『だいたい』とありますが、ここで瓜生先生の使う『だいたい』の意味として最も適切なものを、次のア～エの中から１つ選び、記号で答えなさい。

ア　つめがあまい　　イ　まじめでない　　ウ　おおざっぱにとらえる　　エ　いい加減に扱う

問４　下線部③「数学は算数のようにどう役に立つかは見えにくい。」とありますが、瓜生先生が「数学」をどのような科目として考えているかを、太郎くんは次のようにまとめました。次の空らん［E］にあてはまる内容を、２０字以上３０字以内で書きなさい。

数学は、現実にはないものをあると仮定して、［E］科目。

問５　下線部④「オレはみんなと瓜生のやりとりを眺めながら、それに参加できないオレ、いや参加しないオレに、落ち込んでいた。」とありますが、なぜテツオは落ち込んでいたのかを、太郎くんは次のようにまとめました。次の空らん［F］にあてはまる内容を、３５字以上４５字以内で書きなさい。

［F］から。

3

スポーツ好きの花子さんは、２０２０年東京オリンピック・パラリンピックでも使用される予定の国立競技場が新たに建設されることを知り、以前使われていた国立競技場の歴史とそこに植えられていた芝生について調べてみることにしました。

次の文章は、スポーツライターの増島みどりさんの記事『競技場の芝師と緑の悪魔』（中央公論平成９年５月号）の一部です。これを読んで問１～問６に答えなさい。

鈴木憲美氏を待ちながら、わたしは石灰と、ほこりの匂いが混じった国立競技場の用具置場で、ラジオを聞いていた。薄暗い通路には、「気温は五月上旬並み。都内の桜も間違って咲き始めてしまいました」という気象予報士の弾んだ声が響き、競技場のトラックには、うっすらと陽炎[※1]が立ちこめている。

ふと、ピッチ（芝の部分）に目をやると、わずか二日前に訪れた時とは明らかに違う、緑の芝が、強い日差しに輝いていた。

「お待たせしました。この暑さと風でしょう。もうかゆくてしようがない」。その声に振り向くと、いつものように日焼けした鈴木氏が、笑顔で出迎えてくれた。花粉症のせいで目が赤い。

「おー、動きだしたな、やつら。この陽気じゃ、もう、いても立ってもいらんないんだよ。あれ、随分（芝が）伸びたなあ」

やつら、とは人ではない。この場合、芝のことを指す。厳密に言えば、この時期を境に少しずつ力を衰えさせるはずの冬芝が、適温ともいえる気温の上昇ゆえに勢力を取り戻した、そういう状態を指している。

事務所にはいつも、翌日の天候、気温が書き込まれ、手入れを入念にするよう徹底されている。「三月、四月は、冬芝が夏芝にスムーズにバトンタッチをするようにしてあげる、まあ忙しい時期のひとつだね。暑くなったかと思えば、雪も降る。①三寒四温で気温も安定しないしねえ」。話を聞きながら、いいですか、と許可を求めると、「どうぞ」と促してくれた。靴を脱ぎ、裸足で芝を踏んだ。ひんやりとして、柔らかな感触から離れがたくなった。

「よく日本の四季、っていうでしょ。でも四季じゃないんだよ、日本の芝にとっては。なんだと思う？」。まるでなぞなぞの答えを待つようだった。「 A 、なんだよ。梅雨は芝にとってひとつの季節なんだ。だから難しいんだね」。サッカーＪリーグの開幕により、一年を通じて芝が青い（通年緑化）こと、さらにサッカー、ラグビーといった冬場のスポーツの酷使にも耐えられるような、「スポーツターフ[※2]」を敷き詰めることが要求されるようになった。しかし日本には四季、梅雨、台風などがあり、芝の育成では圧倒的なハンディを負う。国立競技場はこうしたハンディに対応し、しかも真冬でも青い芝を保つために、数年前から夏芝、冬芝の両方を植え、気温の推移によって両方の芝が自然に勢力交替を行なう「二毛作」を行なっている。

全国にいる「グラウンドキーパー[※3]」たち、芝に関わる何百もの人々は、この数年、緑のじゅうたんを一年中敷き詰めようという「夢」の実現にかけてきた。それは何より、日本には根づいていなかった「芝とスポーツ」というある意味での②新しい文化を生むための奮闘でもあった。鈴木氏の存在は、その戦いのシンボルでもあり、国立競技場の芝は夢の形でもあった。

鈴木氏は、芝を③「緑の悪魔」と呼ぶ。

例えば、異常気象で猛暑が続けば夏芝の新芽はつぎつぎに枯れ、ピシウム、というカビにやられて死んでしまう。サッカーグラウンドなどでは太陽が均一に当たるために例は少ないものの、日当たりが原因で起こる「ブラウンパッチ」病などにかかったら、信じられないことに、たった一晩でグラウンドの広さ程度の芝が枯れてしまう。悪魔の仕業である。

夏、冬の芝を合わせて使っているため、葉の太さ、クキの大きさなど、芝の性質がどんどん変化してしまうこともある。慌てて DNA 鑑定に持ち込んで調べると、いつの間にか購入した時とは違う性質に変化している。つまり手入れの仕方も根本から変えなくてはならない。そんな失敗もある。雪が降りそうならば、競技場の通路下にある四畳半ほどの部屋に泊まり込み、雪が固まらないうちに処理しなくてはならない。夏と冬の芝のバランスを見て、芝を間引き[※4]することも欠かせない。スタッフ全員が、こうした日々の、わずかな、それは本当に小さな変化に神経を使っている。

日本の芝は、冬になれば枯れる、それが当然だった。青々とした芝の上で年中スポーツを楽しむ、そんな習慣はなかったからだ。しかし、国立競技場で行われたサッカーのクラブ世界一決定戦が挑戦への第一歩となった。

サッカーの欧州 No１クラブと南米 No１クラブが対戦する、「クラブ世界一決定戦」が、１９８１年、国立競技場で始まった。世界のスーパースターが集まり、両大陸には衛星中継されるというイベントの大きさとは裏腹に、舞台は最高のフィールドとは言い難かった。当時の国立競技場は、いわゆる日本芝の高麗芝を敷いていた。十月を過ぎると、低温に弱いというその特性から一気に枯れてしまう、そんな状態にあり、内外のマスコミに批判された。

実は見た目を気にするあまり、緑色の塗料を混ぜた肥料を撒いて、グラウンドに少しずつ着色していたのだ。当時のビデオを見れば、その「緑」の不自然さに思わず吹き出したくもなる。しかし、枯れた芝に着色する、という見かけ倒しの発想こそが、当時の日本スポーツ界と、芝の関わりの「現実の姿」でもあった。

鈴木氏が、何よりこたえ[※5]たのは、選手の反応だったという。

彼自身もサッカーファンである。憧れの W 杯で活躍し、当時、夢のまた夢、そんな存在だったスーパースターたちが、競技場に脚を踏み入れたとたん、あきれた表情を見せる。「おい、ここがナショナルスタジアムかい？」、「練習用のフィールドだろう。で、本物はどこだい？」。自分の傍らで選手がそんな会話をするたびに一言一言が、グサッ、グサッと胸に突き刺さっていく。「そのうち、こんな中途半端な仕事、グラウンドキーパーとして自分に恥ずかしいじゃねえか、って思い直したんだね」。よし、枯れた芝なら枯れた芝で、まずは手入れの行き届いた芝を提供しよう、土台も水たまりや埃もあがらないような構造にして、いつか真冬にも緑の芝を敷けるようにしよう、そう決心した。

芝の文化、とはどんなものなのだろう。ニコス・カザンキナという人が書いた『イギリス』という本の中に、こんな文章を見つけたことがある。「イギリス人の心臓を解剖すると、そのちょうどど真ん中に、一片の刈り込んだ芝が見つかるに違いない。（中略）そして、イギリス人の天国は芝生で飾られている」。生活に、まさに芝が根づいている。

イギリスで生まれ育ったスポーツにはサッカー、ラグビー、テニス、クリケット、ポロ、競馬、ゴルフがあり、すべて芝の上で成り立つスポーツである。ポロ競技を観戦した時、ハーフタイムに観客全員で荒れた芝を踏み固めている姿を見たこともある。それが、ルールである、という。

（一部省略やふりがなをつけるなどの変更があります。）

※１　陽炎…もやもやしたゆらめき、光の屈折によって起こる現象。

※２　スポーツターフ…運動用地に植える芝。

※３　グラウンドキーパー…競技場のグラウンドの管理をする人。

※４　間引き…十分に生育させるために、すき間なく生えている作物の一部を抜き取って間隔をあけること。

※５　こたえた…刺激や苦痛がひどく負担になる。

問１　下線部①「三寒四温」とありますが、この熟語（じゅくご）の意味をふまえて、花子さんは会話文を作りました。会話文としてもっとも適切なものを、次のア～エから１つ選び、記号で答えなさい。

ア　三月の寒さから四月の温かさに少しずつ変わり、三寒四温のように過ごしやすくなってきましたね。
イ　三寒四温のように、三月なのに四月並みの温かさだったりしてなかなか安定しませんね。
ウ　春先は、寒い日が三日も続いて、そのあとは温かい日が四日も続きましたね。まさに三寒四温の言葉通りですね。
エ　今週は、寒い日と温かい日が１日おきに来て、一週間が過ぎましたね。まさに三寒四温ですね。

問２　空らん［ A ］には、鈴木氏が作った言葉が入ります。鈴木氏の発言からあてはまる言葉を考えて、漢字２字で答えなさい。

問３　下線部②「新しい文化」とありますが、鈴木氏が芝の育成を通して、当時の日本にはなかったどのような習慣を広めたいと考えていたのかを、花子さんは次のようにまとめました。次の空らん［ B ］にあてはまる内容を、本文中からさがして、１９字で書きぬきなさい。

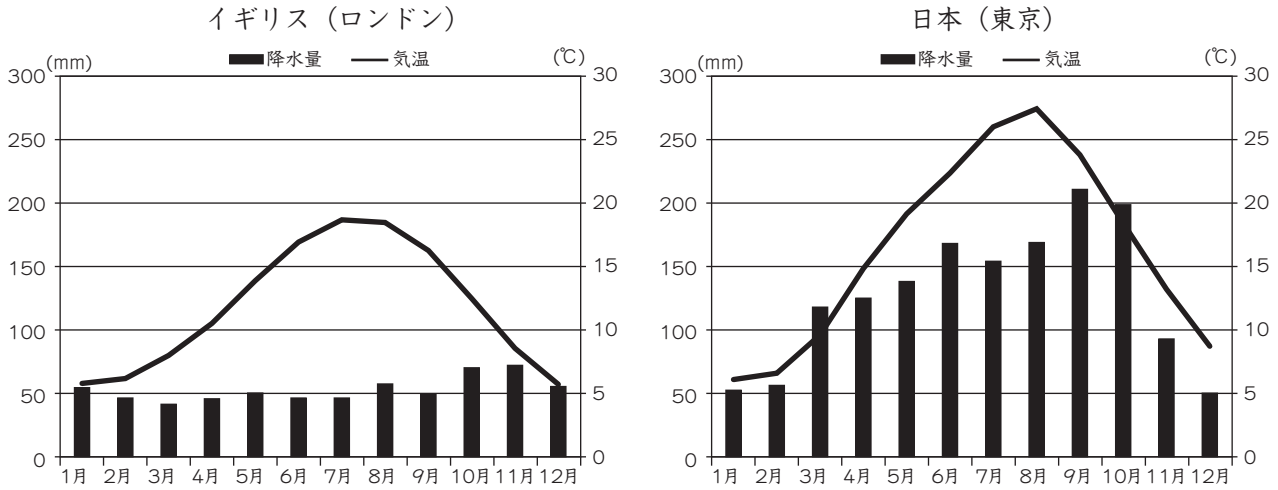
> 芝の育成を通して、当時の日本にはなかった［　　B　　］習慣をいつか広めたいと考えていた。

問４　下線部③「緑の悪魔」とありますが、鈴木氏は芝生をなぜそう呼んでいたのかを、花子さんは次のようにまとめました。そのまとめとして適切でないものを、次のア～エの中から１つ選び、記号で答えなさい。

ア　緑のじゅうたんとも言える鈴木氏の戦いのシンボルでもあるから。
イ　異常気象で暑い日が続くと、カビによって芝がつぎつぎと枯れてしまうから。
ウ　太陽の当たり方しだいでかかる病気によって芝が一晩で枯れてしまうから。
エ　スタッフ全員が、芝のわずかな小さな変化に日々、神経を使っているから。

問５　花子さんは、イギリスと比べると、日本ではなぜ芝生の通年緑化に工夫（くふう）や努力が必要なのかを考えました。その内容を、本文と次の**資料１**を参考にして、５０字以内で書きなさい。

資料１



『２０１５データブックオブ・ザ・ワールド』（二宮書店）より作成

問６　花子さんは、この国立競技場で東京オリンピックが行われた１９６０年代の時代背景（はいけい）について調べたところ、次の**資料２**のような写真を見つけました。当時の日本の様子について説明したものとして、適切でないものを、下のア～エの中から１つ選び、記号で書きなさい。

資料２

（旧交通科学博物館提供）

（しながわ WEB 写真館（品川区）提供）

著作権法上の都合により
掲載できません

「ばい煙を吐く四日市市内の工場」
（毎日新聞社より）

著作権法上の都合により
掲載できません

「三種の神器」電気冷蔵庫、電気掃除機、テレビの売れ行き好調　（毎日新聞社より）

ア　多くの人や物の移動が可能になり、大量輸送の時代が始まっていった。
イ　移動の時間が短くなり、働く人々が地方にどんどん流出した。
ウ　経済（けいざい）が急速に発展（はってん）して、家庭には電化製品が広まった。
エ　経済成長が優先（ゆうせん）され、公害（かんがい）などの環境問題が発生した。

4

平成２７年、公職選挙法が改正され、選挙権年齢を「２０歳以上」から「１８歳以上」に引き下げることになりました。そこで、太郎くんは先生と一緒に、選挙制度について調べてみました。

次の**太郎くんと先生の会話文**を読んで、問１～問４に答えなさい。

太郎くんと先生の会話文

太郎くん：どうして選挙権年齢が２０歳以上から１８歳以上に引き下げられたのでしょうか。
先　　生：投票率について、勉強したことは覚えていますか。
太郎くん：はい、授業で衆議院議員総選挙が行われた年の投票率についてのグラフを見ました。
先　　生：では、**衆議院議員総選挙過去５回の年代別投票率の推移**を見てください。太郎くんは、どんなことに気づきますか？

衆議院議員総選挙過去５回の年代別投票率の推移

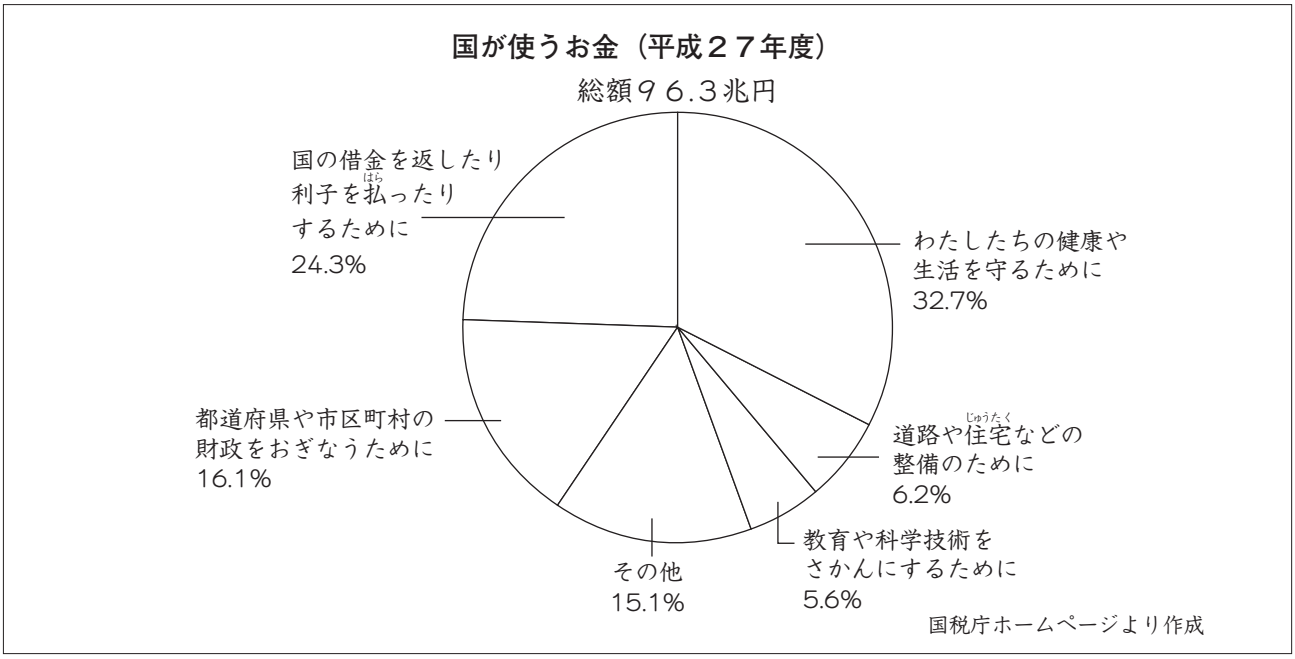
（単位%）

	平成１５年	平成１７年	平成２１年	平成２４年	平成２６年
２０歳代	３５.６２	４６.２０	４９.４５	３７.８９	３２.５８
３０歳代	５０.７２	５９.７９	６３.８７	５０.１０	４２.０９
４０歳代	６４.７２	７１.９４	７２.６３	５９.３８	４９.９８
５０歳代	７０.０１	７７.８６	７９.６９	６８.０２	６０.０７
６０歳代	７７.８９	８３.０８	８４.１５	７４.９３	６８.２８
７０歳代以上	６７.７８	６９.４８	７１.０６	６３.３０	５９.４６
全体	５９.８６	６７.５１	６９.２８	５９.３２	５２.６６

総務省ホームページより作成

※　年代別の投票率は、全国の投票区から、１４４～１８８投票区を選んで抽出した調査

太郎くん：気づいたことを挙げてみます。［　　A　　］。
先　　生：いろいろなことに気づきましたね。次に**国が使うお金**に関する資料を見てください。



太郎くん：国が使うお金は、「わたしたちの健康や生活を守るために」の割合が一番多いですね。

先　　生：国が使うお金の使い道を決めているのは誰だか知っていますか？

太郎くん：選挙で選ばれた国会議員が話し合って国会で決めています。

先　　生：太郎くんは、何にお金を使って欲しいですか？

太郎くん：大学院で学びたいと考えているので、「教育や科学技術をさかんにするために」お金を使って欲しいです。

先　　生：「わたしたちの健康や生活を守るために」使われているのは、主に年金・介護・医療の分野です。これは、高齢者の願いを重視したものと言われることがあります。

太郎くん：なるほど、選挙権年齢が１８歳以上に引き下げられたのは、［　B　］という理由があるのですね。

先　　生：そうですね。それは理由の１つかもしれませんね。ところで、一票の格差という問題もあることを知っていますか？

太郎くん：聞いたことはありますが、くわしくはわかりません。一票の格差とはどのような問題なのですか？

先　　生：平成２６年１２月におこなわれた衆議院議員総選挙で、小選挙区の有権者数が一番多かったのは東京都第１区の４９５，７２４人、一番少なかったのは宮城県第５区の２３１，６６８人。一つの選挙区から一人の衆議院議員が選ばれるので、宮城県第５区の有権者の一票の価値（重み）は東京都第１区の約［　C　］倍あるということになります。

太郎くん：東京都第１区の有権者の一票の方が、価値が小さいというわけですね。ところで、この一票の格差の問題を解消する方法はないのでしょうか？

先　　生：昨年に公職選挙法が改正されて、今年の夏の参議院議員通常選挙では一票の格差を解消するために、選挙区の区割りを変更したり、一選挙区あたりの当選者数を増減するなどの変更がなされています。

太郎くん：なるほど。ありがとうございました。ぼくもしっかり勉強して、１８歳になったら選挙に行きたいと思います。

問１　空らん［　A　］にあてはまる太郎くんが気づいたこととして適切でないものを、次のア～エの中から１つ選び、記号で答えなさい。

ア　過去５回の選挙を通して、全体の投票率は一貫（いっかん）して低下しています。
イ　過去５回の選挙を比べてみると、平成２６年の選挙の投票率はどの世代でも最低です。
ウ　若い世代の投票率が低いのが気になります。特に２０歳代は毎回一番低い投票率です。
エ　過去５回の選挙を通して、６０歳代の投票率は、毎回一番高くなっています。

問２　太郎くんは、なぜ選挙権年齢が１８歳以上に引き下げられたのか考えました。空らん［　B　］にあてはまる内容を、「選挙」「若者（わかもの）の願い」「政治」という語句を必ず使って、２０字以上３０字以内で書きなさい。

問３　空らん［　C　］にあてはまる数字を、小数第３位を四捨五入（ししゃごにゅう）して小数第２位まで答えなさい。

問４　太郎くんのクラスでは、一人だけ当選者を出す小選挙区制度を想定して模擬選挙（もぎせんきょ）（実際の選挙を想定して学校などで選挙をすること）を行ったところ、次のような選挙結果になりました。そこで、太郎くんはこの選挙制度の長所と短所を下のようにまとめました。下の空らん［　D　］にあてはまる内容を、「当選者」「候補者（こうほしゃ）の得票数」という言葉を必ず使って、２５字以上３５字以内で書きなさい。

模擬選挙の結果

	候補者	得票数
当選	○○○○	１０票
	××××	９票
	△△△△	８票
	□□□□	８票

小選挙区制度の長所と短所

長所…得票数が最も多い候補者一人が当選するので、多数決という民主政治の原則が生かされる。
短所…［　D　］ので、多くの人の投票が生かされない。

5

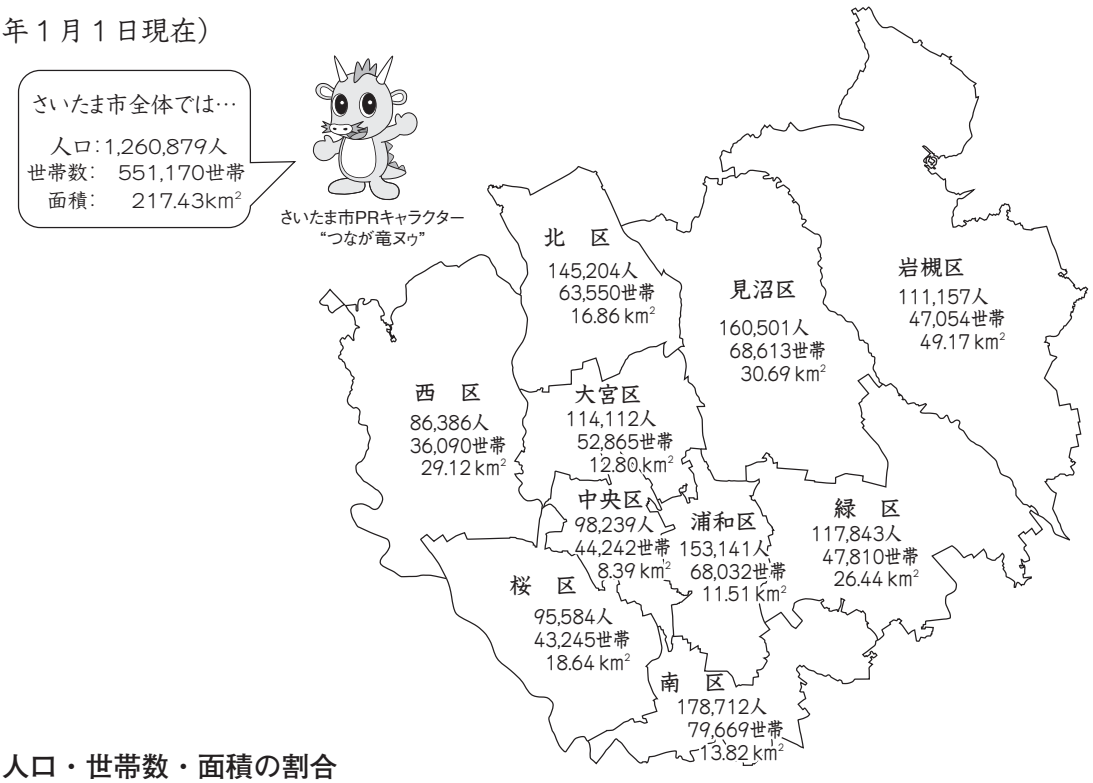
太郎くんと花子さんは、さいたま市について調べ、発表することにしました。

次の問１～問５に答えなさい。

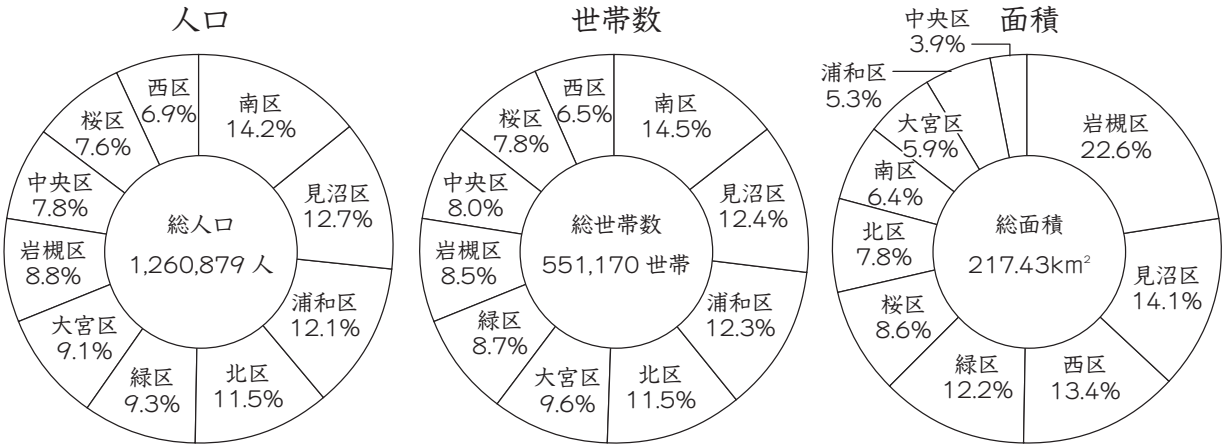
問１　次の**資料１**と**グラフ１**はさいたま市の人口・世帯数・面積について区ごとの数や割合をあらわしたものです。太郎くんは**資料１**と**グラフ１**からわかったことを書き出しました。その内容として適切でないものを、下のア～エの中から１つ選び、記号で書きなさい。

資料１　さいたま市の人口・世帯数・面積

（平成２７年１月１日現在）



グラフ１　人口・世帯数・面積の割合



「さいたま市統計書　平成２６年版」より作成

ア　岩槻区は、面積は市内で最も広いが人口は市内で７番目である。

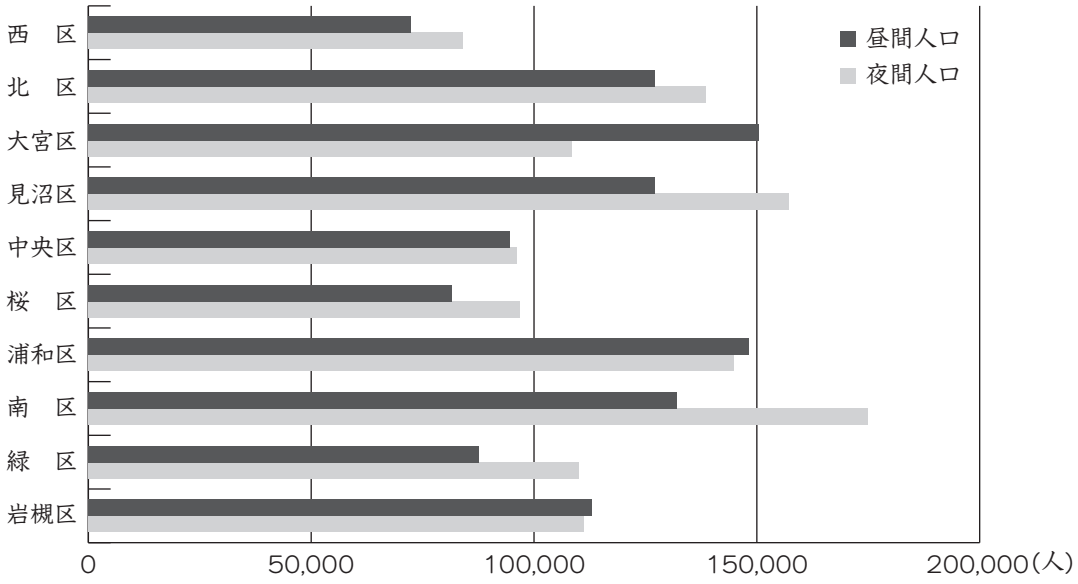
イ　緑区と大宮区を比べると、人口は緑区の方が多いが、世帯数は大宮区の方が多い。

ウ　西区は、面積が３番目に広いが、人口、世帯数ともに最も少ない。

エ　浦和区と南区を比べると、人口密度が高いのは南区である。

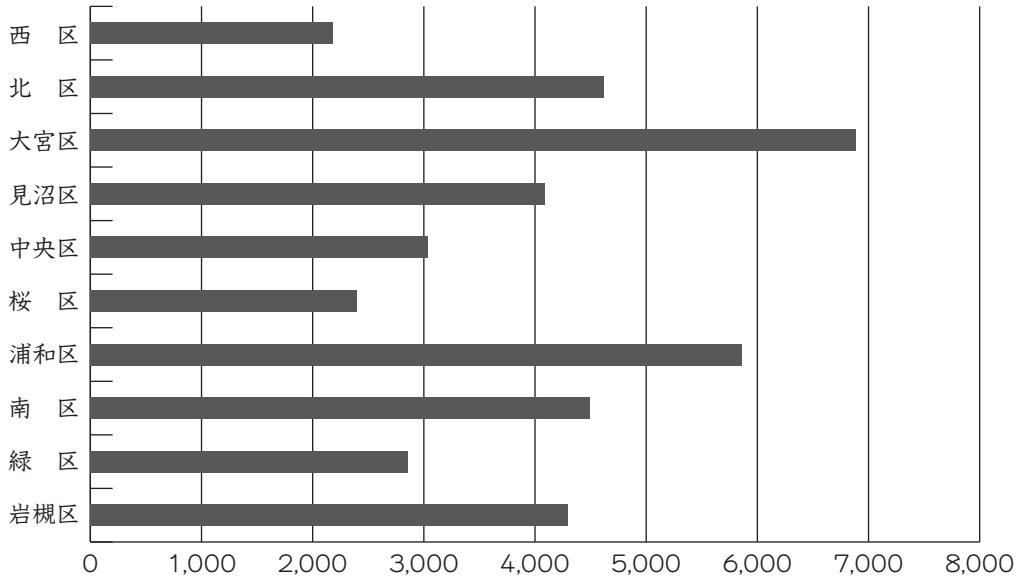
問２　次の**グラフ２**と**グラフ３**は、さいたま市の昼間人口と夜間人口の数とさいたま市の事業所数（民営）を区ごとに調べたグラフです。太郎くんは、大宮区の「昼間人口」について、**グラフ２**と**グラフ３**から読みとれる内容を下のように考えました。下の空らん［　A　］、［　B　］にあてはまる内容を、Ａは２０字以上３０字以内で、Ｂは１０字以上２０字以内で書きなさい。

グラフ２　さいたま市の※昼間人口と夜間人口の数



※昼間人口…夜間人口に通勤（つうきん）などによる流入人口と流出人口を加減したもの。
　夜間人口…その地域に定住している人の数。

グラフ３　さいたま市の※事業所数（民営）



※事業所…経済（けいざい）活動が行われている場所のこと。ただし、農林漁業に属する個人経営の事業所、家事サービス業、外国公務に属する事業所をのぞく。

「さいたま市統計書　平成２６年版」より作成

大宮区は、他のほとんどの区とちがい、［　　A　　］。
この理由は、大宮区は、［　　B　　］からではないか。

問３　次の**表**は、さいたま市の総農家数と耕地面積を区ごとに調べた表です。花子さんは、**表**からさいたま市の農業について下のようにまとめました。下の**まとめ**をもとに、**表**の空らんⅡ、Ⅲ、Ⅳにあてはまる区名を、下のア～オの中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

表　さいたま市の総農家数と耕地面積

	総農家数（戸）	田	畑	合計
		耕地面積（ha）		
Ⅰ	１，２７５	７０５．０	３２３．８	１，０２８．８
Ⅱ	７６７	１７０．３	２６５．９	４３６．２
Ⅲ	７３６	６５．０	３７５．１	４４０．１
Ⅳ	６９８	３１３．０	１２１．９	４３４．９
桜区	２８９	１２１．０	１２．４	１３３．４
北区	１６２	８．３	２３．４	３１．７
南区	１３８	３．９	３３．８	３７．７
中央区	７６	９．３	１０．６	１９．９
大宮区	６７	１０．５	５．４	１５．９
Ⅴ	４４	０．２	８．１	８．３

「さいたま市の農業　平成２７年度版」より作成

まとめ

さいたま市の農業を区ごとに見ると、総農家数、耕地面積の広さともに、岩槻区が１位です。見沼区、緑区、西区なども、農業がさかんに行われています。また、緑区では、畑が多く、西区では田が多いなど、地域（ちいき）ごとの特色があることがわかります。

ア　岩槻区　　イ　浦和区　　ウ　西区　　エ　緑区　　オ　見沼区

問４　花子さんは、各区のシンボルになると考えられる場所の写真を集めて、その紹介文を書いてみました。花子さんの書いた紹介文の下線部ア～コのできごとについて、年代の古いものから順に並べて記号で答えなさい。ただし、アとクについては、解答用紙に記入してあります。

西　区

ＪＲ西大宮駅北口駅前広場のシンボルツリー

このケヤキは、平成２２年にアさいたま市景観重要樹木に指定されました。

北　区

盆栽四季の家

この家が建つ大宮盆栽村は、イ関東大震災が起きて、被災した盆栽業者がこの地に移住し、誕生しました。

大宮区

氷川の杜文化館

ここには能、狂言の練習の場があります。ウ能は、観阿弥・世阿弥の父子が、完成させました。

見沼区

旧坂東家住宅 見沼くらしっく館

この家が建てられたころに、エ日本の鎖国が終わりました。

中央区

円乗院

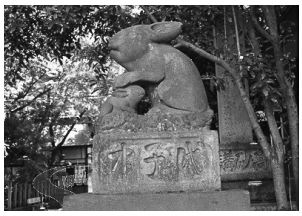
この寺は、オ鎌倉幕府の武将が建て、後でこの地に移されました。桜も市の天然記念物に指定されています。

桜　区

田島ケ原サクラソウ自生地

ここは、カ日米安全保障条約を結んだ翌年に、国の特別天然記念物に指定されました。

浦和区



調神社

この神社にまつられている神が登場するキ『古事記』は、奈良時代に完成しました。

南　区

内谷氷川神社本殿

この本殿は、ク桃山時代に建てられたと言われています。

緑　区

見沼通船堀

これが作られた時代の農村では、ケ生産を増やすために新田開発が行われ、千歯こきなどの新しい農具が普及しました。

岩槻区

岩槻城城門

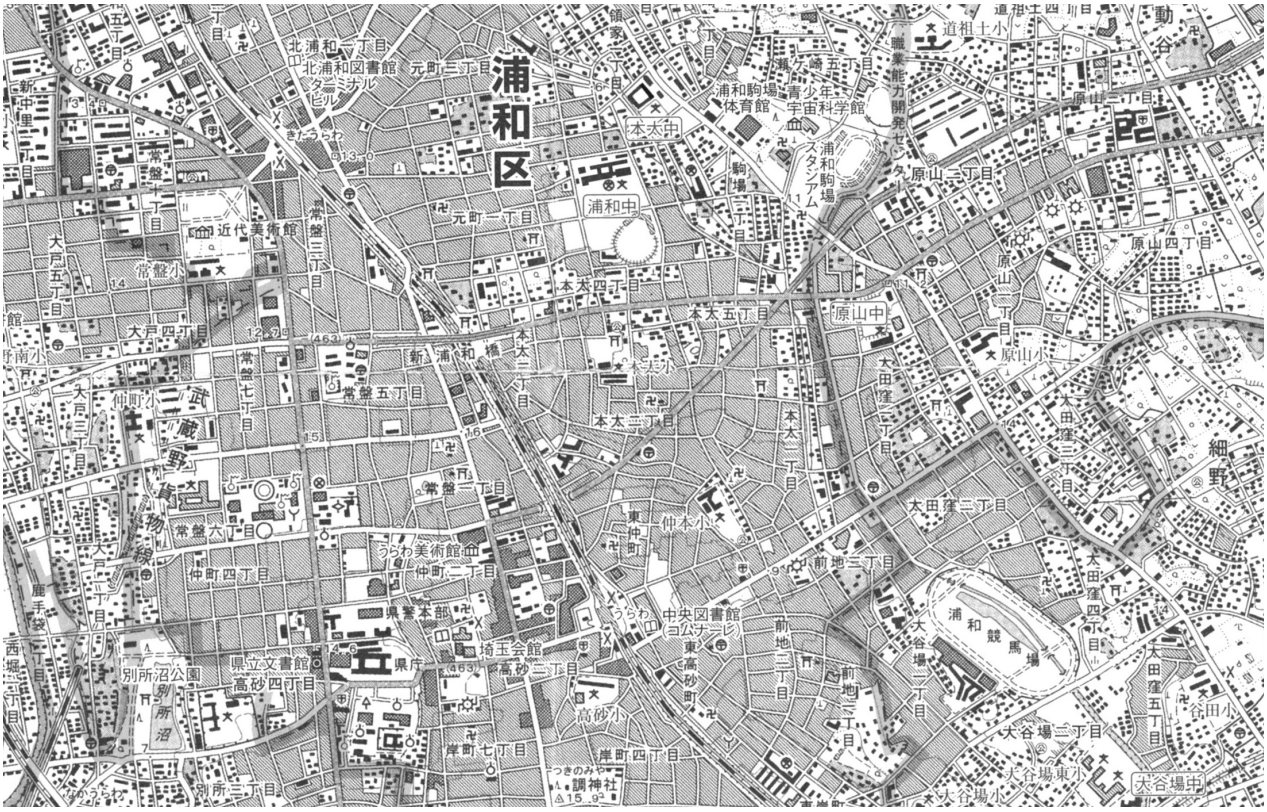
この岩槻城があった時代に、コ鉄砲が伝わり、戦いに使われました。

写真提供

さいたま市文化財保護課（桜区、南区、岩槻区）
さいたま市都市計画課（西区、北区、見沼区）
さいたま市文化振興課（大宮区）
公益社団法人さいたま観光国際協会（中央区、浦和区、緑区）

問５　花子さんは、さいたま市について調べた結果、各区にそれぞれの個性があることがわかりました。さらに、次の**浦和中学校周辺の地形図**から読み取れる、浦和区の特徴をまとめました。その内容として適切なものを、下のア～エの中から１つ選び、記号で答えなさい。

浦和中学校周辺の地形図　　１：２５０００



「さいたま市全図」より引用

ア　東西南北に鉄道が走っていて、交通網が発達している。
イ　浦和駒場スタジアム周辺に、広葉樹林の緑が残っている。
ウ　浦和中学校の北東部には、畑や田があって、農作物を作っている。
エ　美術館、図書館、科学館、体育館など、文化的な施設が建てられている。

これで、問題は終わりです。